

# 環境美化の優良校に

表彰は、飲料業界6団体でつくる協会が、空き缶などの容器回収やリサイクルに熱心に取り組む学校を選んだもの。2000年度から全国の小中学校を対象に選定している。前年度は都道府県から推薦があったため、2000年度は学校の中から最優秀4校、優秀6校、優良30校を選んだ。県庁で2月に表彰式があつた。

平戸小では毎週金曜日を

「きらりんデー」として、こじができる」と話し合つて登校時に平戸の町をきれいにしたことがきっかけで、03年に登校中の児童たち自らが「一人一人が生の16人でつくる「運営委員会」が校舎玄関前に回収箱を置き、ペットボトルや空き缶などの分別作業まで行っている。

委員長を務める6年の宝来敬生さん(11)は「平戸の町をきれいにすること多めで、住民と協力して多くの観光客に来てほしい」と語る。

児童が各地区の清掃活動に参加し、住民と協力して

空き缶などを回収したり、3年生が総合学習の時間に学校周辺のごみを集めたりもしている。学校には、地域住民から感謝の声が寄せられているという。

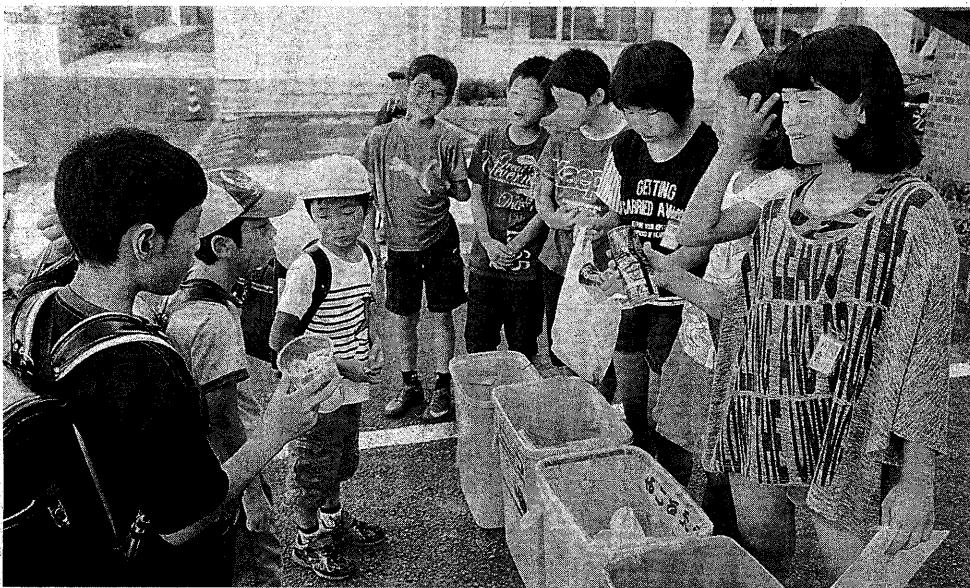
中村新一校長(57)は「児童には、ごみを捨てないとごみ拾いを通じてボランティアの精神を育てたい」と目を細める。子どもたちの古里を思ふ気持ちが、町を輝かせる。(吉川剛光)

り組む全国の小中学校を表彰する「環境美化教育優良校等表彰」(食品容器環境美化協会主催)。平戸市立平戸小が2015年度、「優良校 協会会长賞」に輝いた。児童が登校時に行うごみ拾いなどの取り組みが、「住民と協力して明るい町づくりに寄与している」と評価された。

## 平戸小 平戸市



通学途中にごみ拾いをする児童たち



通学路で拾った空き缶などは、上級生が分別する

### 学校紹介

1874年、平戸城内の藩校「維新館」の跡地に開校。1941年、平戸国民学校に改称。47年、平戸小に改称。55年、市制施行に伴い市立小に。2014年、創立140周年記念式典。在校生408人。校訓は「夢 創る 思いやり 負けるな」。平戸市岩の上町1509番地。

ながさき